HOSEI University
よき師　よき友
つどひ結べり

経営学部 同窓会会報

発行・法政大学経営学部同窓会
発行人　岩井　昭（会長）
編集人　中西文行（広報）
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
ボアソナード・タワー17階経営学部資料室
http://www.houseikeieidousoukai.com/

『佐野新経営学部長紹介』

佐野　哲先生
プロフィール

略歴

法政大学　経営学部　助教授
2003年4月

法政大学　経営学部　教授
2004年4月

学歴

日本大学　経済学部　経済学科
1987年3月　卒業

立教大学大学院　経済学研究科　経済学専攻　博士前期
1989年3月　修了

一橋大学大学院　社会学研究科　社会問題・政策専攻　博士後期
1993年3月　単位取得満期退学

学位

経済学士　日本大学
1987年3月

経済学修士　立教大学
1989年3月

博士（社会学）一橋大学
2001年11月

教育・研究活動状況

経営社会学、労働市場システム研究

大学冬の時代に、どう備えるか？

新経営学部長として、改めて自分なりに本学経営学部の「これまで」と「これから」を考えようと、インターネットで情報を探していました。そうした中でふと目にとまったのが、政府のホームページにあったグラフです（図：文部科学省「高等教育の将来構想に関する基礎データ」平成29年4月11日、PDF3ページ「18歳人口と高等教育機関への進学率の推移」）。なぜこれが目にとまったかと言うと、本学部が新設された昭和34（1959）年の翌年から現在に至る約60年、そして近い将来の10数年が一目で俯瞰できるようなものだったからです。

法政大学に経営学部が新設されたとき、図の通り18歳人口つまり受験生の母数は約200万人、大学進学率は約8％でした。新設直後18歳人口はいきなり大きく落ち込みますが（当時の学部長は、さぞ気を揉まれたのではないかと思います）、その後の「団塊の世代」が18歳となり、一学年250万人の特需が訪れます。その「団塊」はすぐ過ぎ去り間もなく人口減に転じてしまうのですが、ちょうどそれとクロスするように進学率が上昇を続け、18歳人口が底を打つ昭和50（1975）年には25％を突破します。当時の日本経済は「いざなぎ景気」からオイルショックに至る時期にあったので、大学の就活担当は日々、天手古舞いしていたはずです。

オイルショック以降は、18歳人口、進学率ともに順調に伸び、「団塊ジュニア（団塊世代の子ども）」の進学によって、平成直後のバブル経済期まで、本学経営学部も質量ともにどんどん充実していきます。製造業を中心に日本企業が『ジャパン・アズ・ナンバーワン』（エズラ・ヴォーゲル、1979年）の著書とともに世界的評価を高め、その理由を探るべく、日本の経営学研究の裾野が大きく広がりました。本稿をまとめるに当たり、久々に大学史『法政大学と戦後五〇年』を開いたのですが、経営学部の章には著名な先生が多数お名前を連ねており、そうした伝統ある学部の舵取りを引き継ぐという大きな重責を改めて認識する、良い機会となりました。実は、私自身の初期キャリアも、この時期に重なっています。福島県会津若松市から意識も努力も欠いたまま大学進学で上京し、大学で流行の経営学に触れ、流れのまま大学院に進学しました（87年日本大学経済学部卒、89年立教大学大学院修士課程修了、92年一橋大学大学院博士課程単位取得。01年一橋大学博士）。特に、秀でた能力も持たず流れに任せ、まさに運だけでここまで来た人間に、こんな重責が務まるのか（そんなはずはない）。とにかく「周囲の優秀な方々の協力をどう引き出すか？」だけを考えている昨今です。

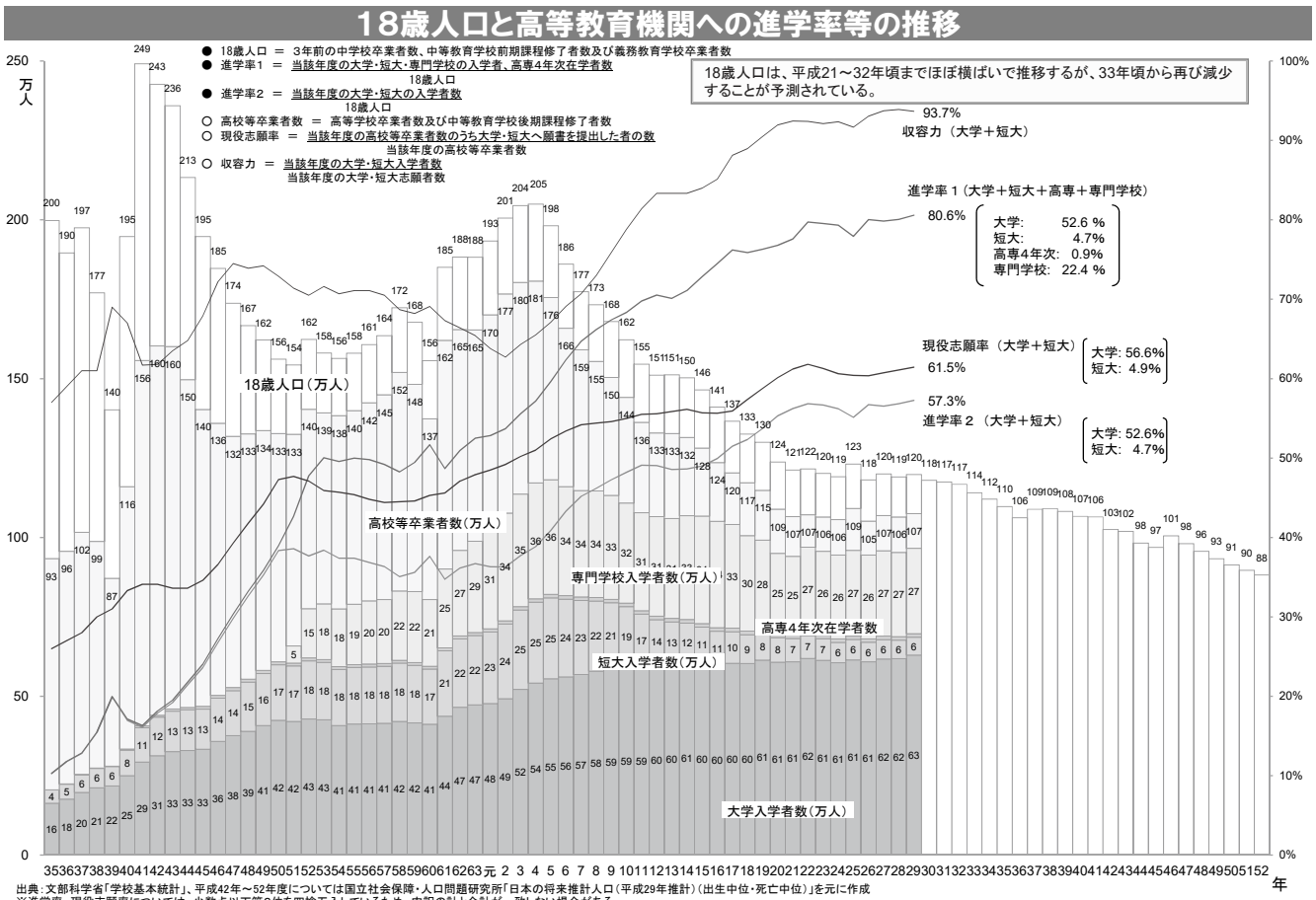
さて、学部長としての私が抱える、肝心要の問題はここからです。図の通りバブル以降、「団塊ジュニア」も過ぎ去って18歳人口は本格的な減少局面に転じたのですが、未だこの段階では先の減少局面と同様、進学率と大学収容力が人口減にクロスして伸び続けました。人口急減でも、進学率が伸びていくなら何とか手立てを考えることができます。その後、私が縁あって本学に着任したのは平成15（2003）年ですが、ちょうどその時期は、減少途中の踊り場（平成11～13年、18歳人口が150万人で横ばいに推移）から再度急降下する局面にあって、われわれ経営学部は設置以来の1学科体制から「3学科体制」に改組されています。上昇を続ける進学率の勢いを捉え、社会ニーズを取り込みつつ教育体制を拡充させることで、難局に向き合ってきたわけです。この間、学部長をはじめ執行部の任にあった先生方は皆、真摯に対応されておられました。また、幸いなことに直近の10年間（平成20～29年）は18歳人口の減少に歯止めがかかっていたこともあり、学部運営はそれなりに安定していたと思います。

しかしながら、平成30年、学部長となった私を迎える学部の外部環境は、極めて不透明なものです。10年続いた「第二の踊り場」は、今年から長期に渡る底の見えない減少局面に入ります。「昔に比べりゃ、なだらかなもんじゃないか!?」と突っ込む向きもあろうかと思いますが、過去にクロスして上昇していた進学率に、かつての勢いはありません。また、「都心の大学は定員を増やしてはならない」とする政策の動きもあり、収容力増も期待できません。マスコミは「大学の2018年問題」（18歳人口が減って大学の淘汰が進むこと。大学冬の時代の到来）と称して喧伝しますが、ポイントは人口減だけではありません2018年の18歳は00年生まれで、それ以降の親は、前年99年の労働市場規制緩和から続く「非正規が急増し、賃金がなかなか上がらない」時代とともにあり、子どもの教育費負担力が著しく低下しています。こんな状態で進学率が上向くことはまず考えられません。

他方、それだからこその「グローバル化・留学生受入れ拡大」でもあります。経営学部では、既に2016年9月から他に先駆け、GBP（グローバル・ビジネス・プログラム）という「英語学位プログラム」をスタートさせ、アジア諸国から学生を受け入れています。とはいえ手放しで拡大とまではいかず、気をつけておくべきポイントや課題が山積したままです。為替変動や送出し国の経済鈍化で教育費負担力が低下するリスク、英語圏にある受入れ国の大学と競争するハンデ、講義のみならずインターンシップやキャリア支援などの付随サービスを留学生向けに拡充していくコスト、さらには「東京の放射能は本当に大丈夫か？」と心配し、本気で質問してくる保護者もまだまだ大勢います。

さあ、「この厳冬期の始まりの時期にあって、新学部長として何をすべきか？」

正直なところ、何をどこから初めるべきか、堂々巡りの毎日です。同窓会の先輩方の声に真摯に耳を傾けながら、一つ一つ課題をクリアしていくしかありません。皆様のご高配とご協力を心よりお願いする次第です。



図：文部科学省「高等教育の将来構想に関する基礎データ」
平成29年4月11日、PDF3ページ「18歳人口と高等教育機関への進学率の推移」

『第136回 法政大学学位授与式』

2018年3月24日（土）、日本武道館にて第136回学位授与式が開催されました。式典後の市ヶ谷キャンパスではそこここで卒業生達が、「よき師よき友」と語らう様子が見られました。

また、夕方からは経営学部主催の「卒業記念祝賀会」が催され、経営学部同窓会は例年同様、経営学部成績優秀者上位10名に記念品を贈呈し、お祝いをしました。

経営学部学生広報委員会のご協力による、学位授与式会場の武道館周辺にて行いました経営学部卒業生へのインタビュー記事を掲載致します。尚、この記事は経営学部公式フェイスブックに掲載されていますので、ぜひご高覧下さい。

卒業生インタビュー

みなさんこんにちは！経営学部広報委員新3年の染野と新2年の岩本です。

本日、日本武道館で行われました法政大学学位授与式で、経営学部卒業生に大学生活で頑張ったこととこれからの目標についてインタビューさせていただきました。

最初は、福井弘樹さんです。

【福井　弘樹さん】

「大学生活で頑張ったことはゼミです。今までは気が合う人と仲良くしていただけでしたが、ゼミに入ってからは価値観が違う人とも意見を出し合って同じ目標に向かって進めなければならなかったことが何よりも貴重な体験になりました。

そして今後の目標は自分が親にやってもらったことをこれからできる自分の家族にもやってあげることです。いろんなことを学べたこの学生生活を振り返ったとき、法政で良かったと思います。」

ついで今年度卒業された広報委員のみなさんです（写真後列左から岩嵜巧さん、富所紀貴さん、前列左から都丸明日香さん、平山あいさん）。

【経営学部広報委員のみなさん】

岩嵜さん「法政大学での四年間の学生生活は本当に楽しく、勉強になりました、特に広報委員会の活動はいい思い出です。」

富所さん「あっという間の四年間でした、この法政大学で学んだことは一生の宝物です、いろいろ学べた四年間でした。」

都丸さん「ゼミにサークルに全力で頑張った四年間でした、大きく一人の人間として成長することができました、法政大学で四年間を過ごせてほんとに幸せです。」

平山さん「この法政大学に入学して出会うことができた先生や友人、後輩たちみんなに感謝してます、自分の成長の場所となりましたありがとうございました。」

経営学部 卒業記念祝賀会

開催日：2018年3月24日

「経営学部　卒業記念祝賀会」開催

3月24日（土）、日本武道館にて第136回学位授与式（卒業式）が行われました。

学位授与式終了後、午後5時30分から、法政大学市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎　地下1階生協食堂において、2017年度卒業祝賀会が経営学部主催で行われました。　経営学部奥西学部長の挨拶で始まり、経営学部同窓会三海副会長から卒業生にお祝いの挨拶がありました。

恒例により卒業生の中から、成績優秀者上位10名に対して経営学部から記念品が贈呈されました。祝賀会最後には、応援団・チアリーダーによるパフォーマンスがあり、参加者全員が肩を組み法政大学校歌を声高らかに　歌い、卒業生の前途を祝してお開きとなりました。

同窓会からは三海副会長はじめ8名が出席いたしました。

入試状況

経営学部としては、2015年度から4年連続の志願者数増となり、3学科体制となった2003年入試に次いで、過去20年では2番目に志願者数の多い年となりました。

柴岡　義則
（平成五年卒）

本学は、3年連続で過去最高の志願者数を記録し、2018年度一般入試においては、ついに12万人を超えて志願者数122,499名を達成いたしました。志願者が10万人を超えたのは、3年連続3回目となりました。

この志願者数は、昨年に引き続き、全国第2位・東日本の大学としては第1位の志願者数です。

経営学部は、各方式あわせて17，210名の志願者がありました。昨年に比べて、1，911名増え、約12％の増加となり、2018年度においては全15学部で最多の志願者数となりました。

【2018年度志願者数　上位３大学】

順位	大学	志願者数
1	近畿大学	156,225
2	法政大学	122,499
3	明治大学	120,279

OB広場

経営学部第1期

佐藤　征己
（昭和三十八年卒）

28歳で広告会社を起業。住居は神奈川県の相模湖駅から徒歩10分、草花の庭越しに相模湖、その先に小高い山並みが連なる眺めの良い静かな田舎家でした。通勤電車は1時間にわずか2・3本。当時は朝・夕の僅かな発車時刻を記憶しておけば良く、さほど不便を感じませんでした。結婚を機に横浜に転居。県の住宅分譲の新聞記事で現地も見ないまま息子の誕生日の番号で申し込み、400倍の競争率から現在の家を射止めました。

広告会社といえば、人々に知って覚えて、認めてもらう事を主眼に感性あふれる制作物を提供する仕事です。起業時は東京オリンピック直後という好景気で順調に仕事は舞い込み、あまり苦労の記憶はありません。

この度同窓会に参加しました。組織はしっかりしておりますが、動員はそれほど多数ではありません。岩井会長はじめ、役員諸氏のご苦労は計り知れぬものがあると思います。発行人の中西様の細心のご配慮に感謝しつつ、これからの会の隆盛を心より祈っております。

卒業して半世紀

西山　俊太郎
（昭和四十三年卒）

経営学部の皆様「こんにちは」私は経営学部を卒業してから、この3月で50年の節目にあたります。過ぎてしまえばあっという間であったとよく耳にしますが、今まさに私も同じような思いに浸っております。今回経営学部同窓会会報への寄稿のチャンスを頂きましたので、振り返ってみても少し気楽に仕事をすれば良かったという事を書かせて頂きます。

私が47年7カ月間勤務した会社は、海外の取引先への出張が毎年何回かありますが、仕事が済んだら即帰国のパターンの繰り返しでした。同行した人達にも我々は仕事で来ているのであって観光で来ているのではないと堅い上司だったと思います。ある時、部下の1人から言われました西山さんとの出張はつまらない仕事だけでといわれ、私もその後少しだけ変わりました。1日だけ市場調査という名目で楽しむようになりました。想えばもっと見たい所が多くあり、少し残念な思いがします。

偲んで。

堀場功理事を偲んで

鈴木　俊明
（昭和四十一年卒）

経営学部同窓会理事の堀場功氏（1966年卒）が、2月15日に亡くなられ、26日、27日に桐ヶ谷斎場で大学、校友会、野球部、経営学部同窓会、会社などの数多くの関係者が参列し、盛大に葬儀が行われました。堀場氏は、保険会社の社長として多忙にもかかわらず、同窓会の広報・財務担当副会長として活躍され、特に会報の「経営学部同窓会通信」発行には多大な貢献をされました。堀場氏の思い出は、同窓会行事のトップマネジメント・セミナーで、野球部マネージャーをされた堀場氏の紹介によって、野球解説者の山本浩二氏や江本孟紀氏を格安で講師にお願いし、立ち見がでるほどに講演会場を満杯にしたことです。また、堀場氏はタバコとお酒をこよなく愛し、この二つの税のため国に相当貢献してきたと役員会後の懇親会で、笑いながら話していたことです。その堀場氏はもういません。誠に残念です。心よりご冥福をお祈りします。

合掌

ゼミ紹介

児玉ゼミ

経営戦略学科
児玉　靖司　教授
（経営情報学）

本ゼミは２００４年からスタートし、今年で14年目を迎えます。担当は児玉靖司先生で、テーマは主に経営情報学について学んでいます。現在、ネットワーク社会になりつつあり、パソコン、スマートフォンがたくさん世の中に溢れています。経営学をネットワーク社会の面から見て、どうすればインターネットを活かせるかを学んでいます。

児玉ゼミでは、春学期には３～４グループに分かれて、テーマに沿った研究を行います。今年のテーマの中にはホームページ制作、アプリ制作、広告制作などがありますが、自分たちでテーマを決めるため、毎年様々なテーマとなります。プログラミングを使ってホームページを作成する班であったり、マーケティングの面からアプリを考える班など、いろいろな角度から考えています。また、ホームページ、アプリ制作には経営の知識が必要です。経営の知識を深めるために本を１つ決めて輪読を行い、１人ずつ発表も行っています。

児玉ゼミでは夏にゼミ合宿を行っています。ゼミ合宿ではグループワークのまとめとして発表を行います。テーマについて相手にはっきり伝わるようプレゼンテーションの練習を何度も繰り返し、それぞれが工夫をして発表の準備をしています。また、様々な観光地を巡り、経営の面から観光地を見るとともに、ゼミ生同士の交流も深めています。

秋学期には、グループワークの内容をさらに深め、より実用的に近づけていきます。ホームページを作る班であれば、ただホームページを作るだけではなく、みんなに見てもらえるようなホームページを作る、アプリを考える班であれば、より細かなセグメンテーションに分け、学習を深めていきます。

このゼミの魅力は自由度の高さにあると考えています。研究テーマ、発表内容など自分たちで決定をし、学びます。自分たちで決めることができるため、より考える時間が多くなります。そうすることにより、物事に対してさまざまな角度からの視点を増やしていくことができるのではないかと考えています。また知識を深める方法も自分たちで考え、よりよいゼミを作り上げていくということを目標に取り組んでいます。このゼミがさらに発展し、歴史あるゼミになっていければよいと思っています。

鎌田凌輝（ゼミ長）、
佐々木純（副ゼミ長）

西川ゼミ

経営学科
西川　真規子　教授
（組織行動論、経済社会学）

こんにちは、西川真規子ゼミナールです。当ゼミは開講して16年目となります。担当の西川先生はオックスフォード大学で雇用問題を研究し博士号を取得した後、東京大学社会科学研究所を経て本学に赴任されました。私たちのゼミは、社会科学全般を研究対象としています。経営学部でありながら社会学・社会心理学も学べるという学習範囲の広さを特徴としています。

西川真規子ゼミでは、社会科学のコアコンピタンスの習得を目標に掲げ、①専門文献を読解し説明、応用する力、②データを収集、分析、解釈するスキル、③グローバル社会で通用する発言力、表現力④集団活動に必要な自主性、責任感、協調性、傾聴力、共感力を身につけるべく日々活動しています。

授業において初年次生は各自が興味関心のある社会問題を取上げ３分間にまとめて発表し、その後全員で議論します。本年度は「日本のカジノ建設に賛成か」「動物園のゴリラの射殺問題」等がテーマに上がりました本年度のテキスト購読では『Ｄｏ！ソシオロジー』という教材を用い、現代社会で生じている問題について議論し考察を進めました。これまでにも『社会科学の道具箱』『複雑さに挑む社会心理学』等様々な文献をテキストとして取り上げてきました。来年度はバウマン『社会学の考え方』の読解に取り組みます。

卒業年次生は各自が関心のあるテーマを設定し、アンケート、インタビュー、フォーカスグループ等の様々な調査手法を用いた実証研究を行っています。本年度は「大学生は何故ブラックバイトに巻き込まれてしまうのか」、「スポーツ経験はどのようなライフスキルを育むのか」等が論文テーマとして挙がっています。

毎年夏季に行う合宿では、合宿のプランをゼミ生が自ら企画し運営します。本年度の合宿はつくば（茨城）へ２泊３日で行ってきました。初年次生はグループワークとして「個人の力、集団の力を最大限に発揮するには」というテーマを掲げ研究発表を行い、４年生は卒論の中間発表を行いました。また、勉強以外ではバスケットボール等のスポーツやレクリエーションを通じて信頼関係を深めました。秋の遠足では、国立近代美術館まで足を運び、戦後の建築様式と人々の暮らしの関係について考察を深めました。

当ゼミは先生も優しくゼミ生同士もお互いを認め合い切磋琢磨し合える環境で活動をしています。私たちゼミ生は、これからも西川真規子ゼミらしさを維持しつつ、更なるゼミの発展を目指し日々精進してまいります。これからも温かい目で見守っていただきますようお願い申し上げます。

２０１７年度ゼミ代表
岡本大河

会費納入のお願い

「経営学部同窓会」は現在、「一般社団法人　法政大学校友会」に所属しております。
法政大学の卒業生の全員が「校友会」に所属していることになりますが、所属している各同窓会では独自に活動及び組織の運営をおこなっております。
「経営学部同窓会」も23年間の歴史のもと、皆さん同窓会員の会費にて活動をおこなってきました。
しかし近年の「経営学部同窓会」の活動のための、会費納入率の低下が否めません。
「経営学部同窓会」は皆さんの会費にて活動をおこなっており、これからも経営学部同窓会の存続・活動のため、皆さんのご協力及び会費の納入を切にお願いする次第です。

経営学部同窓会会長　**岩井　昭**

同窓会のホームページはこちらから・・・。
URL:http://www.houseikeieidousoukai.com/　法政大学経営学部同窓会　検索

住所変更は必ずご連絡下さい！

個人情報保護法により、OB・OGの皆様の住所が大学から入手できなくなりました。
そのため、大学から送られてくる資料内のハガキで変更依頼をしても、同窓会で管理している住所は変わりません。
必ず下記メールアドレスへご連絡ください。

info@houseikeieidousoukai.com

何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

2017年度（平成29年度） 経営学部同窓会　事業報告

1. 東京六大学野球　春季リーグ戦　応援観戦　　平成29年5月20日（土）対東大
2. 定期総会・講演会・懇親会　開催　　平成29年7月8日（土）　14:00～18:00
   市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎3階F309教室
   定期総会
   2016年度事業報告及び決算承認　平成29年度　事業報告及び会計報告
   2017年度事業計画案及び予算案承認　平成29年度　事業報告及び会計報告
   役員選任の承認　名誉会長及び顧問就任の承認
   講演会　講師：平田英明経営学部教授
   演題：「アベノミクスの評価」
   懇親会　富士見坂校舎地下1階富士見坂食堂
3. 東京六大学野球　秋季リーグ戦　応援観戦　　平成29年10月15日（日）対早大(降雨中止)
4. トップマネジメントセミナー開催
   平成29年10月11日（水）　18：40～21：00
   ボアソナード・タワー26階　スカイホールにて
   講師：月刊誌　日経ヘルス編集長　田中祥子氏（法政大学経営大学院課程に在籍中）
   演題：「大変革するメディア業界だから見えた、どこでも通用する人材の共通点」
5. 「落語会と忘年懇親会」を開催　平成29年12月1日（金）　18：00から
   ボアソナードタワー25階　スタッフクラブにて開催
6. 学部生・同窓会合同広報委員会開催　平成29年12月5日（火）　17：30より
   S201教室で学部生が主体の経営学部広報委員会との合同委員会
7. 経営学部教授会との懇談会開催　平成30年1月19日（金）　18：30より
   ボアソナード・タワー25階　スタッフクラブにて開催
8. 経営学部卒業生成績優秀者表彰　平成30年3月24日（土）　17：30より
   成績優秀者10名を表彰し記念品贈呈
9. 常任幹事会　本年度は6回(17/5/23・6/29・9/21・11/7・12/15・18/3/6)開催

2018年度（平成30年度） 経営学部同窓会　事業計画案

1. 東京六大学野球　春季リーグ戦　応援観戦　　平成30年5月熱烈応援予定
2. 定期総会・演芸会・懇親会　開催
   定期総会　平成30年6月23日（土）　14：00～15：00
   市ヶ谷キャンパス　富士見ゲート　2階G201教室
   2017年度　活動・事業報告及び会計報告
   2018年度　事業計画案及び予算案承認
   演芸会　同日　15：00～16：00　　市ヶ谷キャンパス　富士見ゲート　2階G201教室
   演目：落語・漫才・奇術
   出演：落語研究会など本学学生による
   懇親会　同日　16：00～17：30　　ボアソナード・タワー25階　スタッフクラブ
3. 法政フェア2018への参加　　平成30年9月予定
   法政フェア2018にて「経営学部同窓会ブース」を設置し、活動報告や新規入会者勧誘を実施予定
4. トップマネジメントセミナー開催予定
   平成30年10月17日（水）　18：00～21：00
   ボアソナードタワー26階　スカイホール及びラウンジ
   講師：未定　　演題：「未定」
5. 東京六大学野球　秋季リーグ戦　応援観戦　　平成30年10月予定
6. 相撲部屋探訪　平成30年10月予定
7. 経営学部卒業職員・教授会・同窓会との懇談会開催　開催日程未定
8. 「落語会と忘年懇親会」を平成30年12月開催予定
9. 経営学部卒業生成績優秀者表彰　平成31年3月24日（日）成績優秀者10名を表彰し記念品贈呈
10. 常任幹事会　年度内に随時開催 (6~8回)

*各種行事は適時ホームページに掲載し告知いたします。

事務局だより

杉山　孝（昭和六十二年卒）

2011年3月11日東日本大震災より7年がたちました。今年の卒業生に「その日何していた」と尋ねたら、中学3年生で卒業式のリハーサルをしていたとの話でした。つまり、今年の新入生の大半は小学6年生ということになります。月日の流れは早いものです。しかし、亡くなられたご遺族の方々の悲しみはいまだに消えないでしょうし、被害にあわれて生活基盤をなくされた方々の苦労はいまなお続いていると思います。本当にご冥福をお祈りすると同時に、できるだけ早く立ち直る（復興される）ことを願うばかりです。

さて、職員として30年以上大学にいると時の流れを感じずにはおれません。私達の頃は定期試験の前は、友達にノートを借りてコピーをとる学生であふれていました。しかし、先日息子にその話をしたら「なぜ、コピー機でスキャンする」、PCやスマホでデータを送信すればよいだけだとの話です。ガイダンスでもスマホでパワーポイントを撮影している学生が多くなりました。授業についても先生の了解があれば、スマホで撮影はあたりまえになるのでしょうね。また、経営学部でもGBP英語学位コースが2016年9月に設立され、英語だけで授業を受け、卒業できるプログラムが立ち上がりました。

でも皆さん安心してください。同窓会はいまだにアナログの世界で進んでいます、ぜひこぞって遊びに来てください。

2017年度決算報告

【収入の部】		決算
前年度繰越金		678,404
年会費		411,000
懇親会費		181,000
寄付金		297,924
校友会補助金		42,450
受取利息		2
前受金収入		3,000
前期末前受金		-3,000
合計		1,610,780

【支出の部】		決算
一般通信費	郵送料	7,568
一般印刷費	コピー代・名刺印刷	1,270
消耗品費	事務用品	3,578
会報発行費	会報17号印刷費	109,620
	同窓会通信15号印刷	62,190
	諸雑費	
	計	171,810
会報発送費	会報17号発送費	11,551
	同窓会通信15号発送	44,485
	計	56,036
総会開催費	懇親会費	90,000
	諸雑費	10,900
	計	100,900
TMS開催費（トップマネジメントセミナー）	看板代	48,900
	懇親会費	68,000
	諸雑費	30,000
	計	146,900
落語会開催費		80,000
ホームページ運営費		136,800
広告掲載料		66,666
卒業生成績優秀者記念品代		34,884
教授会との懇親会費		61,000
銀行振込手数料		15,886
慶弔費		85,000
同窓会協議会会費		5,000
未払金支払		77,464
次年度繰越金		560,018
合計		1,610,780

2018年度予算案

【収入の部】	予算
前年度繰越金	560,018
年会費	450,000
懇親会費	180,000
寄付金	300,000
校友会補助金	50,000
受取利息	－
前期末前受金	-3,000
合計	1,537,018

【支出の部】		予算
一般通信費	郵送料	10,000
一般印刷費	コピー代・名刺印刷	10,000
消耗品費	事務用品	5,000
会報発行費	会報18号印刷費	110,000
	同窓会通信16号印刷	65,000
	諸雑費	
	計	175,000
会報発送費	会報18号発送費	12,000
	同窓会通信16号発送	45,000
	計	57,000
総会開催費	懇親会費	90,000
	諸雑費	11,000
	計	101,000
TMS開催費（トップマネジメントセミナー）	看板代	50,000
	懇親会費	70,000
	諸雑費	30,000
	計	150,000
演芸会開催費		80,000
ホームページ運営費		150,000
広告掲載料		70,000
卒業生成績優秀者記念品代		40,000
教授会との懇親会費		60,000
銀行振込手数料		20,000
慶弔費		100,000
同窓会協議会会費		5,000
次年度繰越金		504,018
合計		1,537,018

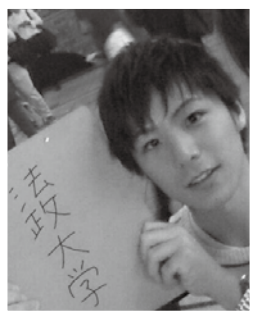
広報委員会便り

大学生活を振り返って

富所　紀貴（経営学部4年）

私の4年間の大学生活はゼミや委員会活動を中心に、多くの集団行動を経験しました。

時には先頭に立ち行動を起こし、またある時には1人のメンバーとして協力することで組織活動について多角度から考えることが出来ました。学生生活を通して気がつき、そして培った自分なりの考え方を信じ、これから待ち受ける社会の中でも力を発揮したいと思います！



経営学部同窓会

2018年
定期総会・講演会・懇親会のご案内

日時　2018年6月23日（土）　14：00～18：00
場所　法政大学 市ヶ谷キャンパス　総会会場　富士見ゲート　2階G201教室
懇親会場　ボアソナード・タワー25階　スタッフクラブ
（JR・地下鉄/市ヶ谷・飯田橋下車）

［第1部］　**2018年定期総会**（14：00～15：00 予定）
2017年度事業報告・会計報告、2018年度事業計画（案）など

［第2部］　**演芸会**（15：00～16：00 予定）　富士見ゲート　2階G201教室
落語・漫才・奇術（予定）
（落語研究会など本学学生による）

［第3部］　**懇親会**（16：00～17：30 予定）
総会参加者、教職員、学生、ゼミOB・OG など
法政大学　市ヶ谷キャンパス　ボアソナード・タワー25階　スタッフクラブ
会費　3,000円

連絡先　法政大学経営学部同窓会事務局　〒102-8160　東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学　ボアソナード・タワー17階
URL http://www.houseikeieidousoukai.com/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:info@houseikeieidousoukai.com

編集後記

中西　文行（昭和五十三年卒）

3月に母校食堂で開催された経営学部卒業生の祝賀会。私は同日、母校で行われていた岡田名誉教授主催の「世界経済研究会」終了後、岡田先生たちとともに祝賀会に参加させていただいた。奥西学部長ほか多くの教授も参集され、学び舎から巣立つ卒業生との懇談の輪が幾重にも広がっていました。私の時代は、このような催しはなく、母校も華やいだと感銘です。卒業生に就職先を訪ねると公務員や一流企業ばかり、就職難とは無縁のようで、経営学部の評価の高さが伺え嬉しい限りです。同窓会は現役生にもお手伝いをしていただき、自分も若返る気がします。これが年代を超えた同窓会の魅力でしょうか。OB会員諸氏の親睦を深めるとともに現役生、教授とも交歓、オール法政の母校愛を強める「絆」、それこそ経営学部同窓会なのだと実感します。常に社会は激動し、時として冷たい面もありますが、校歌「よき師よき友つどひ結べり」は永久に色褪せない精神と思います。卒業関連記事の出稿で編集も終盤、文章校正などはメールを多用と便利な時代になりました。それでも、OB会員、教授の方々などと直接会い、「つどひ結べり」で一段と交流が深まる会報、同窓会を目指すためにも、皆様方のご協力を切にお願いいたします。